

第12期 中間報告書

平成27年4月 1日から
平成27年9月30日まで

大陽日酸株式会社

(証券コード 4091)

業績ハイライト

(百万円未満切捨て)

売上高

2,856億

97百万円 前年同期比
6.2%増

(通期見込 6,550億円)

営業利益

189億

58百万円 前年同期比
15.3%増

(通期見込 425億円)

経常利益

194億

8百万円 前年同期比
17.2%増

(通期見込 413億円)

親会社株主に帰属する四半期純利益

133億

3百万円 前年同期比
34.2%増

(通期見込 270億円)

1株当たり四半期純利益

30.74円

(通期見込 62.39円)

海外売上高比率

40.4%

※第1四半期連結累計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」に掲げられた定め等を適用し、これまでの「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。
※2016年3月期（通期見込）において、米国子会社マチソントライガス社およびシンガポール子会社リーデン・ナショナル・オキシジェン社は、当社との決算期統一により、2015年1月～2016年3月の15ヶ月間を連結対象期間とします。



セルジオサッカークリニック 25周年

社会貢献活動の一環として、1990年より開催しているセルジオサッカークリニックが2015年に25周年を迎えました。小学生チームとセルジオ越後氏率いる講師チームとの交歓試合などを行う本クリニックには、これまで約17,000名もの小学生に参加いただいています。今後も継続して開催することで、地域の皆さまとの交流を深めてまいります。



株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素から当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当上半期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）における世界経済は、中国では景気が減速し、アジア地域でも伸び悩みが見られます。米国ではドル高や海外経済の減速による影響が懸念されていますが、景気は内需を中心に拡大基調が続いています。わが国経済は、円安・原油安に支えられ企業収益は改善していますが、設備投資は伸び悩み、輸出や鉱工業生産にも停滞感が見られ、景気は踊り場を迎えています。

このような状況の下、当上半期における連結業績は、売上高2,856億97百万円（前年同期比 6.2%増加）、営業利益189億58百万円（同 15.3%増加）、経常利益194億8百万円（同 17.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益133億3百万円（同 34.2%増加）の増収、増益となりました。

当期の中間配当金につきましては、上記業績を勘案し1株につき7円（前期の中間配当金は1株につき6円）とさせていただきます。

当社は、中期経営計画「Ortus Stage 1」においてM&Aによる未進出国での市場参入を目標の一つに掲げておりますが、本年7月に豪州でディストリビューターのレネゲードガス社を買収いたしました。今後は同社を橋頭堡として、オセアニア地域での事業基盤の確立に取り組んで参ります。

株主の皆さまにおかれましては、当社に対しまして引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

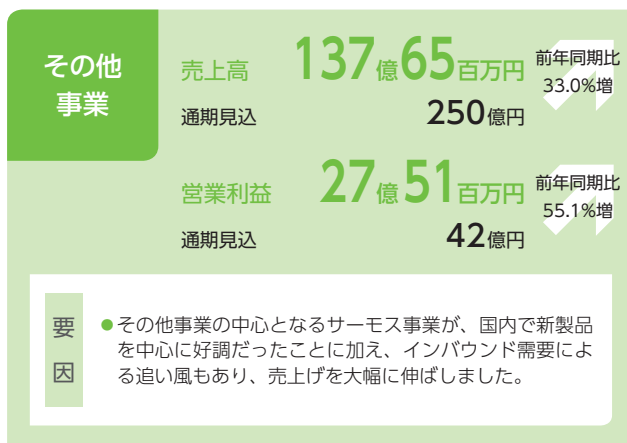
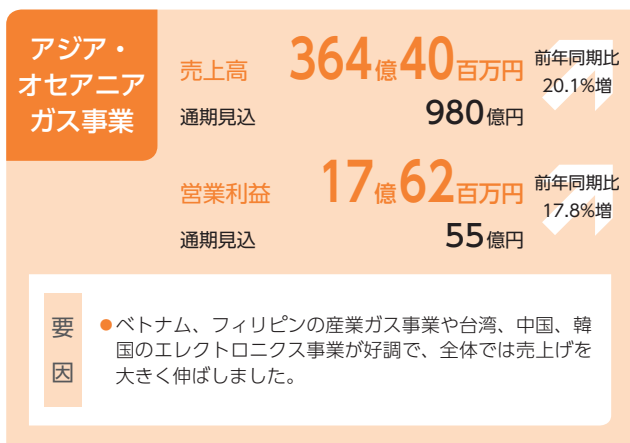
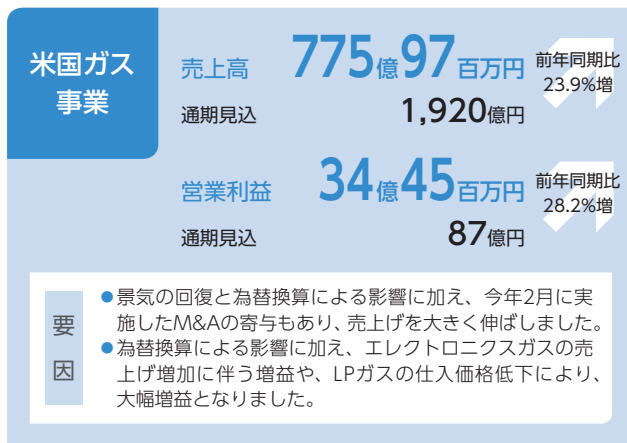
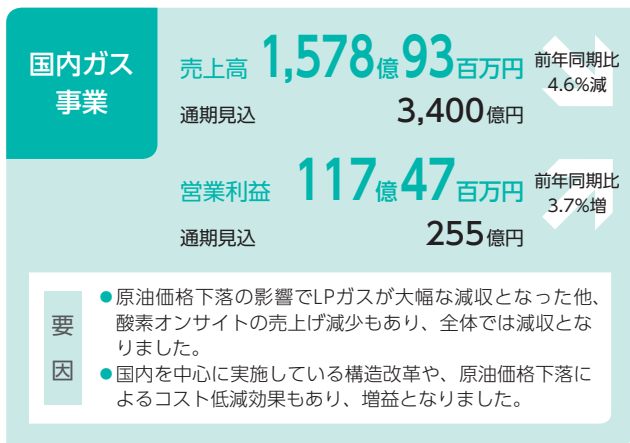
平成27年12月

代表取締役社長 兼 CEO

市原 裕史郎

セグメント業績

（百万円未満切捨て）



※ 当第2四半期連結累計期間より、報告セグメントの名称を従来の「アジアガス事業」から「アジア・オセアニアガス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

※ 「その他事業」とは、主に家庭用品を製造・販売しているサーモス事業になります。

事業紹介

ガステクノロジーで、あらゆる産業と共に歩む。



大陽日酸は「進取と共創。ガスで未来を拓く。」という企業理念を掲げ、産業ガスの供給を通じて常に時代の核となる産業に深く関与し、産業の発達とともに事業発展を遂げてきました。

地球の恵みを活かすガステクノロジーを通じて、未来へと続く豊かな社会、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



大陽日酸グループが製造・供給する産業ガスの種類には、用途が多岐にわたり流通量の多いセパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）の他、ヘリウム、アセチレン、炭酸ガス、水素、特殊ガス（モノシラン、NF3など）などがあります。

セパレートガスの主流となる製造方法は空気分離装置（Air Separation Unit）による深冷分離法です。空気を圧縮し、冷却液化して蒸留（精留ともいいます）することにより、酸素、窒素、アルゴンに分離します。大陽日酸は空気分離装置のメーカーとしてわが国最大の実績を誇っている「プラントメーカー」でもあります。

産業ガスは、日本の産業界を根幹から支える鉄鋼業や化学工

業では、酸素や窒素が酸化促進用や雰囲気ガスとして大量に使用されています。自動車、機械、建設などの金属加工分野では、切断・溶接、熱処理などに酸素、窒素、アルゴン、アセチレンが使用され、品質と生産性の向上に貢献しています。

エレクトロニクス産業においては、窒素やアルゴン、特殊ガスが大量に使われています。

大陽日酸は国内の産業ガス市場で40%のトップシェアを持ち、全国に生産・供給拠点を張り巡らせています。“The Gas Professionals=産業ガスのプロ集団”として、国内外のあらゆる産業界のお客さまに対して、産業ガスを安全かつ安定的に、最適な供給方式でお届けすることを責務としております。

● 大陽日酸のガス供給体制



当社のグローバル展開（アメリカ）



当社では、100%子会社であるマチソントライガス社を通じて米国事業を行っています。1980年代にマチソン社を買収して米国に進出した後、1992年にはトライガス社を買収し、その後両社を合併してマチソントライガス社が誕生しました。2004年頃から事業拡大を加速し、大型案件を含む多数のM&Aを実施するとともに、プラントの建設も着実に進め、10年余りで事業規模を2004年当時の400億円から3倍以上の1,300億円に拡大いたしました。

お客さまは中小ユーザーが中心で、主にバルクガス（タンクローリー）やパッケージガス（シリンダー容器）の形で供給しています。また、ガスに付随して用いられる溶接用機材などのハードグッズでは、オリジナル商品も取りそろえ、全米でも高い販売シェアを有しています。近年はヘリウム生産プラントの建設や、アセチレンメーカーおよび炭酸ガスメーカーの買収により製品ラインナップも拡充しています。

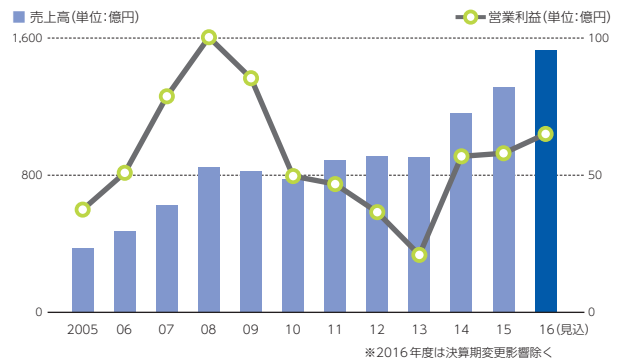
米国では産業ガスのディストリビューターを買収して販路を確保し、独自のノウハウで事業の密度を高めた上で、日本国内で製作した空気分離装置を現地に設置し、メーカーポジションを強化していくビジネスモデルで事業拡大を図っています。この積み重ねにより、現在、全米43州に

事業拠点をもち、18基の空気分離装置でセパレートガスを製造するに至っています。

また、販売網の充実による米国でのプレゼンス向上により、大型案件にも参入できるようになりました。その成果として、今年（2016年）の1月にはルイジアナ州で米国初となる大型オンサイト（パイプラインによる供給）案件を受注しました。

今後も、M&Aと空気分離装置設置による事業エリアの拡大と、大型オンサイト案件の新規獲得により事業の成長を目指します。

● 米国の売上高と営業利益



● 米国事業拠点



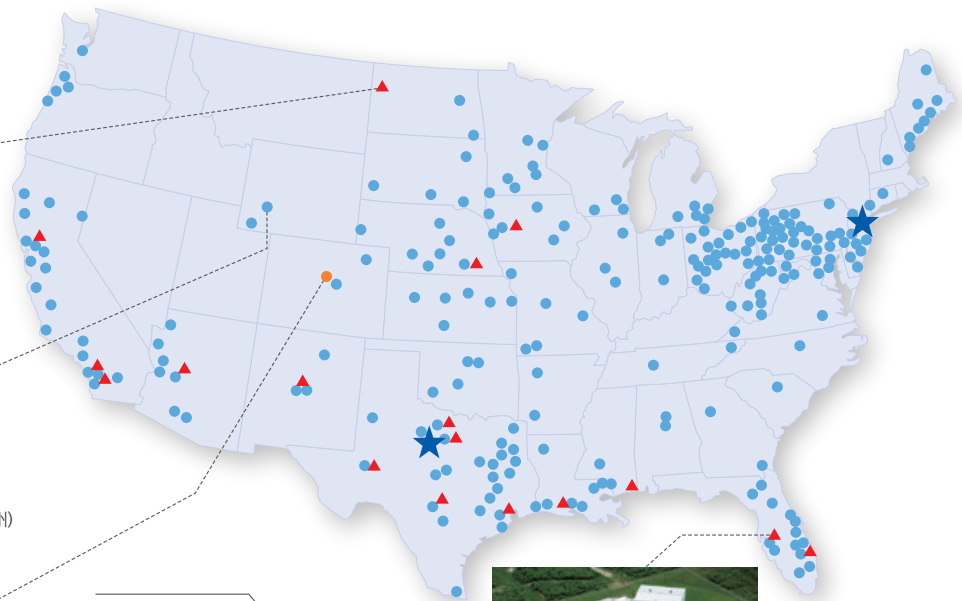
ディキンソン工場（ノースダコタ州）



ヘリウム生産プラント（ワイオミング州）



ロングモント事業所（コロラド州）



レイクランド工場（フロリダ州）

- ★ コーポレート本社
- ▲ 空気分離装置
- 研究所
- 充填所・物流拠点

主なM&A案件



リンウェルド社
— 2006年買収
米国中西部のガスメーカー



パレー・ナショナル・ガス社
— 2009年買収
米国東部のガスディストリビューター



ウエスタン・インターナショナル・ガス・アンド・シリンダース社
— 2010年買収
米国最大のアセチレンメーカー



コンティネンタル・カーボニック・プロダクツ社
— 2014年買収
米国大手炭酸ガスメーカー

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当上半期末 平成27年 9月30日現在	前期末 平成27年 3月31日現在
資産の部		
流動資産 ①	268,879	268,105
固定資産 ①	540,633	514,251
有形固定資産	343,676	324,842
無形固定資産	110,086	92,173
投資その他の資産	86,870	97,235
資産合計	809,513	782,357
負債の部		
流動負債 ②	187,866	184,570
固定負債 ②	273,662	256,579
負債合計	461,528	441,149
純資産の部		
株主資本	294,587	284,025
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	56,078	55,955
利益剰余金	201,400	190,957
自己株式	△236	△232
その他の包括利益累計額	28,081	33,219
その他有価証券評価差額金	6,660	12,777
繰延ヘッジ損益	△456	△461
為替換算調整勘定	20,908	20,067
退職給付に係る調整累計額	968	835
非支配株主持分	25,315	23,963
純資産合計 ③	347,984	341,207
負債純資産合計	809,513	782,357

POINT ① 流動資産・固定資産

流動資産・固定資産は、前期末に比べ271億56百万円増加しました。今年度を実施したタイ、オーストラリアなどでのM&Aにより、のれんが大幅に増加するとともに新規連結子会社の資産を計上したことが主な要因です。

POINT ② 流動負債・固定負債

流動負債・固定負債は、前期末に比べ203億79百万円増加しました。外部からの借入により積極的な設備投資・投融資を行ったことで、前期末と比べて借入金が増加しております。

POINT ③ 純資産合計

純資産は、前期末に比べ67億76百万円増加しました。当上半期の好調な決算に支えられ、利益剰余金が増加したことが主な要因です。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	前上半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー ⑦	33,776	24,667
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑧	△39,415	△14,044
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑨	460	△29,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	399	△123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,777	△19,476
現金及び現金同等物の期首残高	51,547	56,088
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	212	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,981	36,613

POINT ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比91億9百万円収入増の33億776百万円の収入となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の増加に加え、売掛金が減少したこと等により収入が増加しております。

POINT ⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比253億71百万円支出増の394億15百万円の支出となりました。M&Aの実施により、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したことが主な要因です。

POINT ⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比304億36百万円収入増の4億60百万円の収入となりました。前年同期には社債の償還や借入金の返済などによって大幅な支出となっておりましたが、当上半期では借入金による収入が支出を上回りました。

POINT ④ 売上高

売上高は、前年同期比で167億86百万円の増収となりました。国内ではLPガスの輸入価格下落により売上高が減少したものの、米国やアジアでの産業ガス事業、サーモス事業を中心とするその他事業が好調を維持し、売上げを伸ばしました。

POINT ⑤ 営業利益・経常利益

営業利益は前年同期比で25億19百万円の増益、経常利益は前年同期比で28億44百万円の増益となりました。米国やアジアでの産業ガス事業やサーモス事業の増収に伴う増益に加え、国内では原油価格下落によるコスト低減効果もあったことから増益となっております。

POINT ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で33億93百万円の増益となりました。経常増益に加え、タイの持分法適用関連会社を連結化して段階取得差益を特別利益に計上したことが主な要因です。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	前上半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
売上高 ④	285,697	268,911
売上原価	186,555	180,346
売上総利益	99,141	88,564
販売費及び一般管理費	80,183	72,126
営業利益 ⑤	18,958	16,438
営業外収益	2,817	2,629
営業外費用	2,367	2,504
経常利益 ⑤	19,408	16,564
特別利益	1,813	—
税金等調整前四半期純利益	21,222	16,564
法人税、住民税及び事業税	6,959	5,901
法人税等調整額	222	61
法人税等合計	7,181	5,962
四半期純利益	14,040	10,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	736	691
親会社株主に帰属する四半期純利益 ⑥	13,303	9,910

2015年4月1日より単元株式数を変更いたしました。

100株単位での株式の売買が可能です。

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主さまへ

単元未満株式(1株~99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいいます。単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式

株主総会で議決権を行使できます。
証券市場で売買できます。

単元未満株式

株主総会で議決権を行使できません。
証券市場で売買できません。

単元株式(100株)にするには

単元未満株式をお持ちの株主さまは、市場価格で、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式を当社に対しご売却(買取制度)いただくことができます。

(例) 40株をお持ちの株主さまの場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

ご利用方法

証券会社の口座をお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続きください。
また、特別口座をお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

●特別口座の口座管理機関および連絡先

口座管理機関：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

連絡先：〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

※特別口座に株式をお持ちの株主さまが、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座へ振り替えが必要となりますので、お早めにお手続きください。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 6月に開催
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 株式事務に関するご案内
- 公告方法 当社ホームページ(<http://www.tn-sanso.co.jp>)に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所
- 証券コード 4091
- 単元株式数 100株

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店	(みずほ証券では、取次のみとなります。)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売却はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4091

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



大陽日酸
The Gas Professionals

〒142-8558 東京都品川区小山1-3-26
TEL (03) 5788-8000 (大代表)
<http://www.tn-sanso.co.jp>

